

思いをとどける
未来をつくる！



Center of Japan
日本のと真ん中
信州辰野町

たつのまち



議会だより

No.101



写真(新町)：いいまちたつの知らせ隊

3月定例会 令和8年度予算案可決 ②

議会だよりモニター アンケート報告 ⑬

委員会レポート ④

町長への要望 ⑧

一般質問 ⑨



辰野町議会
ホームページ



辰野町議会
Facebook



辰野町議会
YouTube

- 令和7年度辰野町一般会計補正予算(第11号)
- 令和7年度辰野町水道事業会計補正予算(第2号)
- 令和7年度町立辰野病院事業会計補正予算(第2号)

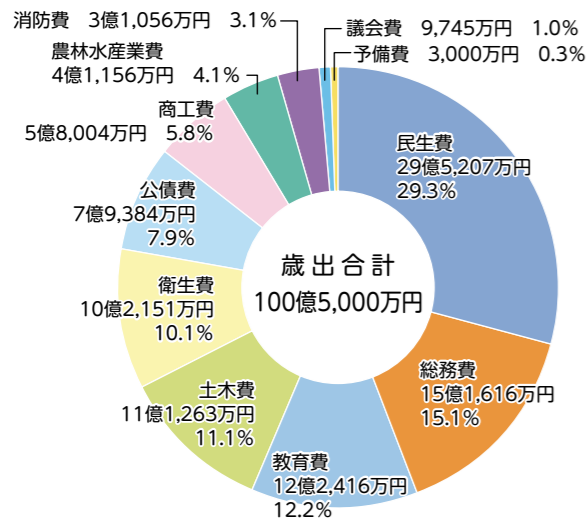
補正額 1億8,240万2千円 増額
補正額 45万5千円 増額
補正額 302万8千円 増額

令和8年度予算のポイント 「町の価値を追求し未来へつなぐ予算」

予算・補正予算・条例改正等
27議案 すべて可決

〈一般会計歳出目的別内訳〉

単位：万円（金額は千円未満を四捨五入しています）



民生費 前年度比 316万円減(△0.1%)

重層的支援体制整備事業は、課を横断した支援や訪問支援による包括支援へと転換し、深刻な事態を未然に防ぐ体制を整えるもの。

国民健康保険税は、平均19.1%と大幅な引き上げとなり住民負担が大きすぎる。一般会計から繰り入れを行い、値上げを抑制すべきでは。

直接的な赤字補填のための繰り入れは行わない。

総務費 前年度比 8,017万円減(△5.0%)

令和8年度広域避難所の空調設備3件が予定されているが、他の広域避難所の空調設備状況は。

これまで申請のあったところは、今年度で終了。

教育費 前年度比 2億2,460万円減(△15.5%)

- 学校給食費は、物価・米価高騰に対し、国と町の財源で保護者負担を最小限に抑制する。
- 小学校への校内教育支援センター設置に向けた準備の加速。辰野中学校のスロープ設置等。

土木費 前年度比 4,645増(4.4%)

区からの要望に基づく交通安全対策費として、新設工事9箇所、カーブミラーや道路防護柵、街灯の設置を計画。都市計画マスタープラン改定・立地適正化計画策定業務委託料等を計上。

城前線の桜の木は道路に覆いかぶさり危険。

令和8年度は、樹木剪定業務委託料で対応予定。

衛生費 前年度比 2,441万円減(△2.3%)

ゲートキーパー養成講座や「心の相談カード」を通じた孤立防止。インフルエンザワクチン接種助成対象を18歳まで拡大し予防策に重点を置く。

公債費 前年度比 4,238万円増(5.6%)

地方債元金、利子償還金。

商工費 前年度比 1億1,146万円減(△16.1%)

- 次世代企業経営者の勉強会創設、テレワーク支援事業入門セミナーの継続。
- サイクルツーリズム推進と新たな観光資源強化のため地域おこし協力隊を1名から2名に増員。
- 観光面で大城山ゼロポイント歩道整備を進める。

農林水産業費 前年度比 7,444万円増(22.1%)

農業振興事業に有機農業推進事業を新設し、保育園や学校を通して広く町民に理解してもらう仕組みをつくる。

町内でのジビエ(野生鳥獣肉)の活用は。

鮮度管理が難しく、そこまでは考えていない。

消防費 前年度比 2,162万円減(△6.5%)

消防団員の高視認性活動服(蛍光生地と再帰性反射材で構成)購入費、可搬消防ポンプ購入費等。

議会費 前年度比 216万円増(2.3%)

全員協議会室の音響設備改修工事を行い、他会議でも使用できる会議室とする。

賛否の分かれた議案

議案
第4号

令和8年度辰野町国民健康保険特別会計予算 予算額 17億2,405万円(8,309万円減)

主な内容：出産育児一時金の計上、検診委託先の変更による単価削減と費用対効果の最大化

賛成 10 樋口、林、牛丸、古村、松澤、栗林、小澤、本田、向山、小林
反対 2 吉澤、高木

【原案可決に反対(高木)】 事業者負担のない国保は他の健康保険料より高い。これまで基金の繰入で負担軽減を図ってきた。基金枯渇下で加入者負担を求めるのではなく、一般会計からの繰入で対応を。

【原案可決に賛成(小澤)】 急速な国保被保険者数の減少による保険税収入の減収と医療費の増大等による基金枯渇の中、今後も保険制度を維持していくために、この標準保険税率への準拠による予算は妥当。

議案
第17号

辰野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

主な内容：子ども子育て支援納付金の新設、県標準課税率に合わせた税率に改正するため

本会議/可決

賛成 10 樋口、林、牛丸、古村、松澤、栗林、小澤、本田、向山、小林
反対 2 吉澤、高木

【原案可決に反対(高木)】 国保改正でモデル世帯は年約10万円増と大幅負担増、県内でも最高水準。物価高の中、特に子育て世帯への影響は深刻。税率引上げでなく一般会計からの繰入で負担軽減を。

【原案可決に賛成(林)】 子ども・子育て支援納付金課税額の新設。安定財源の確保と持続可能な子育て支援体制の構築を図るもの。子育て世帯への軽減措置や公平性の向上も図られており、妥当な改正。

その他の議案

※委員会レポートに掲載されている議案もありますので、どうぞご覧ください。

令和7年度一般会計補正予算(第12号)	身体障害者等支援事業、減債基金積立金、児童福祉費負担金、子育て支援事業ほか	補正額 1億6,439万7千円 増額
令和7年度一般会計補正予算(第13号)	衆議院議員総選挙事務費	補正額 89万3千円 減額
令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	子ども・子育て支援金制度導入によるシステム改修に係る情報センター負担金ほか	補正額 429万6千円 増額
令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	広域連合保険料納付金ほか	補正額 2,161万3千円 増額
令和7年度介護保険特別会計補正予算(第4号)	サービス給付等諸費ほか	補正額 1,626万3千円 増額
国民健康保険条例の一部を改正する条例	財産管理金融機関の名称を「八十二長野銀行」に変更	
林野火入れに関する条例の一部を改正する条例	上伊那広域連合火災予防条例の一部改正に伴う改正	
令和7年度通学路緊急対策交通安全事業町道8号線工事請負契約の変更	擁壁工の増工による契約金額の変更(301万4千円 増額)	
第6次総合計画後期基本計画	令和8年度から令和12年度を計画期間とする計画を策定	

陳情審査

陳情
第2号

「最低賃金の改正と中小企業等支援の拡充を求める意見書」の提出を求める陳情書

提出者：上伊那地区労働者組合連合会 議長 伊藤公一氏

本会議/不採択

賛成 5 吉澤、古村、高木、向山、本田
反対 7 樋口、林、牛丸、松澤、栗林、小澤、小林

【不採択に反対(吉澤)】 最低賃金を先進国水準へ引上げ、生活基盤を確保し経済を底上げする必要がある。全国一律制により都市部への人材流出を防ぎ、さらに中小企業支援の法定化や強化が必要。

【不採択に賛成(牛丸)】 地域格差を無視した一律制や急激な引上げは、企業の経営と雇用に深刻な影響を及ぼす。価格転嫁等の環境整備が不十分な中、賃金のみが先行する本陳情の採択には反対する。

陳情
第3号

高額医療制度の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める陳情

提出者：長野県社会保障推進協議会 代表委員 宮沢裕夫氏(他5名)

本会議/趣旨採択

賛成 9 樋口、林、牛丸、古村、松澤、栗林、小澤、本田、小林
反対 3 吉澤、高木、向山

【趣旨採択に反対(吉澤)】 本制度は重篤疾患治療の基盤である。限度額引き上げは受診抑制を招き不合理であり、月120円程度の保険料引き下げと引き換えに負担限度額引き上げは酷だ。

【趣旨採択に賛成(栗林)】 高額医療費による生活負担への配慮を求めるもので趣旨は理解できる。持続可能性も踏まえた制度見直しは慎重な検討が必要。その双方を両立させる形で対応することが望ましい。

陳情
第4号

消炎鎮静剤や抗アレルギー薬などについて、薬の追加負担を行わないことを求める陳情

提出者：上伊那医療生活協同組合 安心まちづくり委員会 委員長 高橋 誠氏

本会議/趣旨採択

賛成 9 樋口、林、牛丸、古村、松澤、栗林、小澤、本田、小林
反対 3 吉澤、高木、向山

【趣旨採択に反対(吉澤)】 月33円の保険料引下げと引換えに、花粉症薬等1100品目の窓口負担を増やすことは、受診控えや重症化を招く恐れがある。患者負担を増やし健康を脅かす制度変更は中止すべき。

【趣旨採択に賛成(古村)】 町民の命と暮らしを守りたいという陳情者の切実な思いには、大いに理解し深く共感する。一方で、国民皆保険制度を持続させる目的や例外規定も考慮する必要がある。

総務産業常任委員会

一般会計・特別会計予算審査 ～委員会付託議案は全て可決～

3月11日・12日・13日に副町長・担当課職員出席のもとで審査し、13日に現地調査を行いました。

特別会計・事業会計予算審査

辰野町上水道事業会計予算

・予算額 7億4,440万円(662万円減)

収入総額より1億6,600万円不足となるが、損益勘定留保資金などで補填。令和8年4月から7月は、基本料金無償化による減収もある。24時間の監視体制を維持し、8年ごとの量水器取り換えを実施。

問 近年の異常気象で水源量の低下が心配だが。

答 水源量低下に対応するため新たな水源の開発を進めている。



辰野町下水道事業会計予算

・予算額 15億7,379万円(3,004万円減)

収入総額より2億2,100万円不足となるが、損益勘定留保資金などで補填。

問 ウォーターPPP(上下水道事業の民営化)の導入については。

答 今後の研究が必要。



辰野町地域情報告知システム特別会計予算

・予算額 2,825万円(1,573万円増)

「ほたるねっと」通信回線終了に伴う、基地局撤去工事、外部アンテナ撤去工事、端末回収業務委託料等。

※特別会計・事業会計予算の3議案は、採決の結果、全員一致で可決すべきものと決しました。

条例等審査

辰野町宿泊税交付金基金条例の制定について

長野県宿泊税市町村交付金が交付されることに伴い、町の観光振興等に必要な経費の財源を当面基金として積み立てておくため。

問 基金の積立期間は設けられているのか。

答 基金への積立は2年間まで、期間内での活用計画が必要。

辰野町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告における管理職員特別勤務手当の支給対象時間帯の改定に伴い改正するもの。

辰野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

会計年度任用職員の処遇改善を計るために条例の一部を改正するもの。

問 会計年度任用職員の募集における苦勞は。

答 職種によっては、2次募集3次募集をしても集まらない。

辰野町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

非常勤消防団員等にかかる損害賠償の基準を定める政令の改正に伴い改正するもの。

辰野町営バス設置条例の一部を改正する条例について

多様化する移動ニーズに対応するため、町営バス飯沼線は停留所を増やし本格運行。飯沼線・川島線の運賃体系改定により、更なる利用促進を図る。



問 令和8年4月から新運賃、新停留所を実施するとして、利用者の周知は間に合うのか。

答 4月施行に対して周知は遅れている。チラシ等を作成し、利用者への周知を図る。

※条例等審査の5議案は、採決の結果、全員一致で可決すべきものと決しました。

陳情審査

陳情第2号 「最低賃金法の改正と中小企業等支援の拡充を求める意見書」の提出を求める陳情書

物価高騰から労働者の暮らしを守り、日本経済の回復を進めるために、最低賃金法を改正し、全国一律制度を実現し、抜本的に引き上げること及び中小企業等の支援の拡充を求めるもの。

○主な意見

・物価上昇が賃金上昇を上回っており、生活実態からも最低賃金引き上げは必要。

- ・地方では車が必須。生活コストが高い。地域差を理由に低賃金を容認すべきでない。
 - ・非正規雇用や低賃金労働者の生活安定のため、全国的な底上げが重要。
 - ・地域間格差を踏まえた最低賃金制度である以上、全国一律化や大幅引き上げには慎重であるべき。
 - ・地方の中小企業にとって急激な引き上げは大きな負担となり倒産や雇用縮小に繋がる懸念がある。
- ※採決の結果、賛成3・反対3の同数となり、委員長裁決により不採択すべきものと決しました。

現地調査をした令和8年度の主な事業

◆広域避難所(上辰野)空調設備新設工事

・中央コミュニティーセンター
室内機8台、室外機8台 設置工事



◆情報告知システム 基地局撤去工事

・「ほたるねっと」通信回線終了に伴う設備撤去
自設柱5本、基地局(ボックス・アンテナ)50局



◆平出団地49～52号棟解体工事



「道の駅 南信州とよおかマルシェ」視察研修

令和8年2月5日(木)

【研修目的】

地域における道の駅の役割と効果を探る。

【豊丘村が抱える課題】

人口減少、山間集落の維持困難、買い物弱者、基幹産業である農業の担い手不足と衰退等。

【地域課題解決策とまとめ】

道の駅を中心とした小さな拠点施設「とよおかマルシェ」内に農産物直売所、農産物加工施設、スーパーマーケット等をつくり、農家の販路拡大と所得向上、農産物の付加価値向上、日常生活を支える拠点の形成を図っていました。また、観光拠点施設「とよおか旅時間」を併設し、農業体験観光やレンタサ

イクル事業、農家レストランなどに力を入れ、農業の衰退や遊休農地増加等の地域課題解決に取り組んでいました。この2拠点は、単なる道の駅の施設整備にとどまらない施設でした。「モノ・コト・ヒト・トキ」を連携させ、地域の活性化に結び付いていると感じました。



福祉教育常任委員会

一般会計・特別会計予算審査 ～委員会付託議案は全て可決～

3月11日・12日に教育長・担当課職員出席のもとで審査し、13日に現地調査を行いました。

特別会計・事業会計予算審査

辰野町国民健康保険診療所特別会計予算

- ・予算額1,229万円(800万円増)
- 第一診療所と川島診療所の廃止に伴う解体費等。



辰野町後期高齢者医療特別会計予算

- ・予算額4億3,178万円(4,625万円増)
- 被保険者の増加や資格確認書作成などのシステム改修に伴い予算を増額。

町立辰野病院事業会計予算

- ・予算額23億5,220万円(5,758万円増)
- 物価高騰や受診患者数減少の影響により9,925万円の赤字見込み、病床稼働率75%を目標に急性期病院との連携を強化する。
- 一般会計からの繰入金は、4億5,000万円。

問 病床稼働率80%以上を目標とすべきでは。

答 利用率は上がっているが、患者数の確保ができないため達成は難しい。

問 予算段階の赤字を町の繰入金で補填しないのか。

答 繰入には基準がある。病院の経営努力で改善すべきとも考えている。

辰野町介護保険特別会計予算

- ・予算額22億4,089万円(2,614万円増)
- ※特別会計・事業会計予算の上記4議案は、採決の結果、全員一致で可決すべきものと決しました。

辰野町国民健康保険特別会計予算

- ・予算額17億2,405万円(8,309万円減)
- 出産育児一時金(6名分、300万円)の計上と検診委託先の変更による単価削減。

問 保険税の引き上げを抑えるために、一般会計から法定外繰り入れはできないか。

答 特別交付金等で問題が生じる可能性があり、繰り入れによる対応は難しい。

○否決すべきとする意見

- ・一般会計から繰り入れて値上げを抑えるべき。
- ※採決の結果、賛成5・反対1の賛成多数で可決すべきものと決しました。

条例等審査

辰野町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

子ども誰でも通園制度実施のための条例の制定。

辰野町子育て支援センターつどいの広場設置条例の一部を改正する条例について

子育て支援センターつどいの広場(ちびっこ愛ランド)を辰野町高齢者能力活用センター「たつのパークセンターふれあい」へ移転のための条例改正。

辰野町使用料条例の一部を改正する条例について

子育て支援センターつどいの広場移転に伴う使用料条例の一部改正。



※条例等の上記3議案は、採決の結果、全員一致で可決すべきものと決しました。

辰野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

子ども・子育て支援納付金課税額の新設及び国民健康保険税の税率改正に伴う改正。

○否決すべきとする意見

- ・他の健康保険に比べ高い国民健康保険税を、さらに約2割上げる税率改正に賛成できない。
- ※採決の結果、賛成5・反対1の賛成多数で可決すべきものと決しました。

陳情審査

陳情第3号 高額療養費制度の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める陳情

○主な意見

- ・予算使途を見直せば高額療養費上限額を上げる必要はない。
- ・国の財政圧迫や将来世代の負担抑制という現実を考えると全面的賛成は難しい。
- ・検討の余地があるが、医療保険財政持続のため、患者負担の調整はやむを得ない。

- ・低所得者への配慮もなされており、一概に引き上げ反対とは言えない。
- ※趣旨採択にすべきとの意見があり、採決の結果、趣旨採択とすることに賛成5、採択すべきとして反対1、で趣旨採択とすべきものと決しました。

陳情第4号 消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬について、薬の追加負担を行わないことを求める陳情

OTC類似薬(市販薬と効能や成分が類似した処方薬)に特別料金(薬剤の25%)として追加負担を行わないことを求めるもの。

○主な意見

- ・自己判断での服用は危険。現役世代にとっても負担増の影響は大きいと採択を主張する。
- ・制度全体の維持を優先すべき。
- ・対象薬は身近で、安易な処方費を圧迫している側面もある。
- ・ドラッグストア等で定価購入している人との公平性を考えるべき。
- ※趣旨採択にすべきとの意見があり、採決の結果、趣旨採択とすることに賛成5、採択すべきとして反対1、で趣旨採択とすべきものと決しました。

現地調査をした令和8年度の主な事業

◆中央保育園遊戯室空調設備設置工事

- ・ガスヒートポンプエアコン設置予定



◆中央保育園外壁塗装等改修工事

- ・外壁塗装、ゴムチップ塗装(プール・テラス)



◆小野のシダレグリ自生地遊歩道整備工事

- ・木製デッキ、遊歩道入口部分に手すり設置



◆小野のシダレグリ自生地侵入防止柵設置工事

- ・擬木打ち込み、ナイロンロープ(長さ500m)



現場の声を町政へ ～介護事業者との意見交換会を開催～

令和8年3月25日(水) 14:00～15:45 辰野町役場1階 第2会議室

【経営を圧迫するコスト増と事務負担】

燃料・食材費の高騰を価格転嫁できない構造的な苦しみ報告されました。冬場の光熱費が夏場の3倍に達する施設もあり、経営努力のみでは吸収できない状況です。また、煩雑な事務作業が本来のケア時間を奪っている現状も浮き彫りになりました。

【人手不足の深刻な悪循環】

採用コストの増大も深刻です。高額な紹介手数料の負担や若手不在により、70代のスタッフが現場を支える綱渡りの運営が続いています。中堅層が不足し、新人が定着しにくい負のスパイラルへの危機感が示されました。

【未来への提言と横の連携】

事務のAI活用や施設間での送迎ルート共有など、枠組みを越えた連携案も出されました。町には、物価高騰対策の支援金や移動支援の単価見直し、そして業務形態を越えた「横のつながり」を構築するリーダーシップが求められています。



町長への要望

【総務産業常任委員会】

要望 立地適正化計画と重点事業の進め方
辰野町では、老朽化した公共施設が増加しており、人口減少や厳しい財政状況を踏まえると、統廃合や再編を計画的に進めることが不可欠です。一方で、地域活性化や住民福祉の向上に向けた新たな施設整備も求められています。
しかし、町単独の財源では対応が難しく、国の補助金や支援制度の効果的な活用が不可欠です。現在、都市計画マスタープランの改定および立地適正化計画の策定が進められていますが、約3年を要するとされています。その間に具体的な施設整備や再編の検討が遅れる懸念があります。住民サービスの維持・向上の観点からも、この空白期間を生じさせない対応が重要です。
つきましては、立地適正化計画の策定と並行して、公共施設の統廃合や新規整備に関する優先順位の明確化や個別施設ごとの再編・整備方針の検討を進めるとともに、国の支援制度に機動的に対応できる体制を整備し、柔軟かつ戦略的に事業を推進していくことを強く要望します。



出典：国土交通省 Web サイト

町長 都市計画マスタープランの改定および立地適正化計画の策定については、3年後の目標年次を見据え、現在準備を進めています。人口減少や少子高齢化の進行、公共施設やインフラの老朽化などの課題に対応し、持続可能で安全・安心なまちづくりを進めるため、町全体の将来像や土地利用の基本方針を整理し、計画的なまちづくりを進めていくことが重要です。あわせて公共施設の統廃合や個別施設の整備再編についても各課が連携して検討します。
辰野町公共施設等総合管理計画は、令和5年3月に一部改正を行い、将来の人口推計や施設更新費用などを踏まえ、公共施設の総量を25.7%縮減することを目標としました。今後は老朽化状況、利用状況、維持管理コスト、費用対効果、将来利用見込みなどを総合的に勘案し、施設ごとの整備再編方針と優先順位の整理を進めていきます。

【福祉教育常任委員会】

要望 来年度から始動する「重層的支援体制」は、複雑化する地域課題(8050問題・ヤングケアラー・孤立する妊産婦など)に対応する上で非常に重要です。予算の枠組みを作るだけでなく、組織体制の整備、専門職の育成や関係機関との連携を深め、支援を必要とする町民に確実にアウトリーチ(訪問支援)できる『真に実効性のある伴走型支援』を求めます。



AI 生成イメージ

町長 近年、地域課題は多様化・複雑化し、従来の制度では対応が困難となっています。令和8年度から重層的支援体制整備事業を推進し、関係部署の連携や人材育成を強化します。断らない相談支援と伴走型支援により、誰一人取り残さない地域共生社会の実現を目指します。

要望 義務教育は基本的に無償であるべきという前提がある一方で、一部の地域では通学交通費の負担が大きくなっています。そこで、町内の中学生を対象としたスクールバスの配置や通学定期代(交通費)の補助など、全町的なさらなる通学支援を求めます。

町長 無償とは授業料不徴収を意味し、通学費や学用品は保護者負担が原則とされています。中学校の通学距離は概ね6kmとされ、恒久的な通学支援やスクールバス運行は行わないとしています。ただし物価高騰を受け、交付金を活用し令和8年度に限り通学費支援を実施する予定です。

要望 町立辰野病院は来年度も赤字が見込まれています。地域医療を維持するためにも、明確な目標を持って経営強化プランを着実に実行し、さらなる経営改善の推進と住民サービスの向上を求めます。



町長 患者数の減少や、物価・人件費の上昇で経営は厳しい状況にあります。経営強化プランのもと目標管理と評価を徹底し、病床機能再編し地域包括ケア病床の拡充を実施しました。さらに、地域ニーズを踏まえた分析を行い、全職員で経営改善に取り組めます。

道路交通法の改正に伴う制限速度変更の周知は

町長 警察などと協力し、ホームページなどで周知していく

質問 速度超過を防ぐ物理的な対策の予定は。
答弁 速度抑制には路面表示やポール設置なども有効な手段と考え、今後実施していく。またゾーン30の設置についても、地元の合意形成を図りながら検討していく。

持続可能な地域コミュニティ

質問 少子高齢化で、地区を支える人材や予算が不足している。事務的・財政的な支援の考えは。
答弁 事務的な支援として、区長会からの資料を電子化(メール送信)して役員間の情報共有や引き継ぎの負担軽減を図っているほか、上島区における「集落支援員」の活用事例などを各区に共有・啓発している。財政面では、防災やゼロカーボン、協働のまちづくり支援金などの既存の補助金を活用して支援する。

質問 地方自治法の改正により創設された「指定地域共同活動団体」制度の導入に関する町の考えは。
答弁 全国的にも条例化して運用を始めている自治体が少なく、具体的なイメージが見えづらいため、本町の課題解決に繋がるかどうかも含めて、引き続き情報収集と研究を続けていく。

避難所のごみ・衛生対策

質問 指定ごみ袋の備蓄は。
答弁 災害時は指定袋以外も回収するため、多様な用途に使える袋の備蓄を進める。

質問 一時保管用コンテナの配備など、感染症リスクへの対策は。
答弁 コンテナ配備は場所等の都合から難しいが、パッカー車を感染対策専用車として運用することも可能であり、関係課と連携して対応する。

「未来につなぐ森ビジョン」におけるハード面の林野火災予防の位置づけは

答弁 具体的な防火対策の明記はないが、森林の過密状態の解消や林道の適正な維持管理、緩衝帯整備が可燃物の低減と防火機能の向上につながると考えており、防災減災効果の高い森林づくりを推進していく。



山梨での林野火災

【注目ポイント】 指定地域共同活動団体とは、地域の有志たちを市町村が公的にパートナーとして認める制度

人口減少に対応した社会モデルへの移行を

町長 限られた資源の中で実効性のある政策を進める

質問 人口減少が進む中で、辰野町は人口減少を問題と捉え対処していくのか、それを前提としたまちづくりを目指すのか、町長の方向性は。
答弁 人口減少を前提に地域の将来像を設計し、持続可能なまちづくりを進めていくことが重要。住民の暮らしの豊かさや安心して住み続けられる環境の向上がこれからの自治体運営において最も重要な課題。

質問 町外への転出理由について、どの程度把握・分析されているのか。
答弁 年代別に見ると20代が最も多く30%を超えている。次いで30代、40代、50代、10歳未満。10歳未満では全転出者が7歳未満である。男女比では特に20代で女性の転出が多い。転出先では上から箕輪町85人、塩尻市43人、伊那市42人、岡谷市32人。分析から、住宅政策に関する検討が重要と考える。必要に応じた政策を検討していく。

質問 辰野町は移住施策において何を最も重視し、どの価値を優先しているのか。
答弁 学生時代を町外で過ごした方のUターンを含む移住促進と、若者世代の転出抑制を重点的に取り組んでい

く。伊那・諏訪・松本の3方面にそれぞれ30分から1時間圏内でアクセスできる立地の良さも生かした政策についても研究する。

信州豊南短期大学との連携についての考えは

質問 学生の住まいの確保や生活ルールの共有、アルバイトや就職のマッチング支援など、町としてどのように対応していく考えか。
答弁 町営住宅は空き部屋がないことから、学生向けの住まいとしては確保することが難しいが、学生の住まいの確保については短大の方から要望を伺っている。どのような形で関与できるか、情報共有をしながら対応をしていく。本年4月に入学する外国人留学生に関しては短大の方から依頼があり、一緒にアルバイト先を探している。町主催の企業ガイダンスも行って

いる。



信州豊南短期大学のキャンパス

【注目ポイント】 人口減少社会への現実的な対応方針を確認しました。



こむら みきお
古村 幹夫





たかぎ ちか
高木 智香



町営霊園につながる道で危険回避するための対策ができないか

町長 カーブミラーの設置や看板による注意喚起を行う



新設されたカーブミラー

児童発達支援事業所の設置時期の目標と課題は

答弁 最短で3年はかかる。課題は①設置場所の選定②有資格者の確保③施設整備のための財源確保の3つ。

投票率向上に向けた投票所のあり方の検討は

質問 独自に実施した高齢者へのアンケートの中で一番多かった要望は、スーパー等への投票所設置だった。役場庁舎以外に期日前投票所を設ける考えは。

答弁 二重投票防止のオンラインシステムと新たな通信回線の整備に多額の費用がかかるため、設置は難しい。

質問 ワンボックスカー等を利用した「移動式期日前投票所」があれば、投票所から遠いところに住んでいる人も投票しやすくなる。また高校や短期大学、保育園前で実

【注目ポイント】 町営霊園につながる道にカーブミラーが設置され、対向車が確認しやすくなりました。

施できれば、高校生や大学生、子育て世代も投票しやすくなり、投票率が向上するのでは。

答弁 町内21箇所の投票所は、集落の中にあり、投票所までの距離はおよそ2km未満。投票所が遠いという声は聞いていない。近年、期日前投票利用者が増えているため、選管では投票所の統合について検討する時期にきていると考えている。移動式期日前投票所は、交通手段の確保が困難な方への対応として検討する必要がある。区長会でも選挙に関わる意見を収集している。

質問 投票日に、町内在住であれば誰でも投票できる「共通投票所」を設ける考えは。

答弁 利便性は高いが、技術面と財政面で難しい。

高齢者等タクシー・バス利用料金助成範囲の検討は

質問 親族と同居していても、休日・夜間等ひとりで過ごす高齢者がいる。本人が住民税非課税で運転免許を持っていない場合、タクシー券を助成できないか。

答弁 助成拡大は、福祉施策の充実として重要だが、持続可能な制度維持のために、財源の確保や対象者の公平性等の課題がある。社協やNPO法人による有償サービス等の利用促進を図っていきたい。



むかいやま ひかる
向山 光



新たな地域医療構想への対応は

町長 住民生活に影響を及ぼす重要な構想である

質問 伊那中央病院の整形外科での、辰野町民患者の受け入れ制約への対応は。

答弁 同院の医師の減員は一時的なものとする。その間、手術等必要な町内の患者は、諏訪・松本医療圏と連携をとっていく。

質問 新たに設けられる地域医療構想の会議に、町長はどのようなスタンスで出席するのか。

答弁 町民が必要な時に最適な医療を安心して受けられる生活基盤に沿った構想になるよう参加する。

意見 町民が医療難民にならないよう強い決意で。

各種パブリックコメントをどう周知するか

質問 パブリックコメントの周知を図り、町民の町政へ参画を促すべきでは。

答弁 町ホームページや地元紙で掲載し周知を図っているが、より分かりやすい方法を研究していきたい。

職員の非違行為防止のための倫理研修のあり方は

答弁 風通しのいい職場づくりをし、適性・勤務実態を反映して、昇任や配置転換により、やる気を引き出す取り組みをする。

意見 過度な成績主義や成果主義は慎むべきだ。

【注目ポイント】 パブリックコメントや公益通報制度は行政の透明性、住民参加のための重要なツール

ハラスメント防止、公益通報制度の実効性は

答弁 ハラスメントの相談は複数件あり、警察等とも連携して必要な措置をしている。第三者機関への通報も庁内で議論していきたい。外部の労働者等からの外部通報制度も要綱を準備している。周知の仕方も検討していきたい。

老朽化した公共施設について公民連携による活用は

答弁 泉水旧医師住宅や旧小野図書館でPFIによる整備を行った。それぞれの課題の性質、事業規模、財政状況等を総合的に検討し、最適な手法の選択という視点を基本に進めていく。



公民連携で整備・再開された旧小野図書館（むらとしよ）

文化財保護行政を担う人材の確保・配置は

答弁 専門的な知識と先見性を持った職員を配置し、文化財所有者との信頼関係を構築できる体制が必要と考える。

出生数減少と転出超過の現状、少子化対策の方向性は

町長 強い危機感を原動力に変え、町の未来を切り拓いていく



くりばやし としひこ
栗林 俊彦



質問 持続可能な地域社会を維持するため、具体的な数値目標の出生数100人を旨とする施策が必要では。

答弁 施策の積み上げの結果として理想の数字や目指す姿に少しでも近づけるよう取り組んでいきたい。

質問 出会いの場・機会の創出(マッチング支援)は。

答弁 2025年11月に「たつのメタバース婚活～ほたるが繋ぐ縁結び～」を実施。好評価をいただいた。

質問 住宅支援や奨励金制度の充実を図り、若年層の移住・定住の推進を最優先で取り組む考えは。

答弁 若者が地元に戻り、また町外から本町を選んで定住していただくことは、町の活力を維持向上させる上で極めて重要な課題である。町の良さを発信し、永く住み続けられるよう、総合的な施策を推進していく。

行政情報誌のデジタルブック化による情報提供は

質問 最新の「たつの結婚&子育て応援さぽーとBOOK 2025」を電子版で発行した目的と効果は。

答弁 子育て世代の生活様式を踏まえ、情報入手の利便性を高めること。電子書籍デジタルブックとして公開しており、直接URLから展開できるため、ダウンロードが不要となることから操作が簡略化された。

【注目ポイント】 持続可能な地域社会を維持していく上で、出生数の確保は極めて重要な課題である。

質問 広報誌のデジタルブック化で利便性向上を図り、多くの人に読んでもらう取り組みを進める考えは。

答弁 現行のPDF公開に上乗せして得られる効果は大きくないと考えるため、広報誌のデジタルブック化については、現時点では実施する予定はない。

辰野病院の住民サービス向上、患者満足度アップを

質問 アンケートや投書箱の設置による患者の声の反映状況と改善の効果は。

答弁 病院正面入口の手洗いに子ども用ふみ台、休診状況の掲示板を玄関外に設置など改善に取り組んでいる。



患者さまの声

改善事例の紹介

質問 院内モニターやスマホアプリで待合状況・推定待ち時間の情報を表示しては。(不満解消・サービス向上)

答弁 診察待受表示システムの検討を行ったが、非常に高額になることが想定され、導入を見送った。

質問 オンライン予約システム導入で利便性向上は。

答弁 費用対効果が低いとの判断から見送り。現在、小児科のみ当日のメールによる問診及び受付を実施。

町長公約、地方創生・地域の活性化の進め方は

町長 可能性を探る段階 議論を深めることを主眼に進める



はやし まさみ
林 政美



質問 町長公約のプロジェクトの進捗状況は。

答弁 課長会等で内部的な議論を進めている。プロジェクトチームは、まだ設置していない。今後、計画の具体化に向けて関係者を集めて編成したい。

質問 住民理解や合意形成をどのように図るのか。

答弁 住民との対話を深めるために情報提供の機会を設け、外部有識者の意見も取り入れることで、住民の関心を高め、理解を深め合意形成を進める。

質問 公約の目標年次をいつとしているか。

答弁 取り組みの進捗に応じて、年次ごとの目標を設定し、進捗状況を報告し、進めていく。



辰野町民憲章の石碑

公約実現のための資金確保の方法は

答弁 実現するには、国・県の補助金、地方債が不可欠。補助金は、地域未来交付金や社会資本整備総合交付金。地方債は、公共事業債や一般補助施設整備事業債等が想定される。

質問 財源確保は歳入の増加策か。歳出の削減か。

答弁 歳入増加、歳出削減、両者を組み合わせて取り組む。歳入は国・県補助金に加え、企業版ふるさと納税を含め、ふるさと納税の強化を図る。歳出の削減は、経常経費の削減、職員定数の適正化、指定管理者制度やPFIの活用等、複数の手段を組み合わせ財源確保に努める。

地方創生・地域活性化の強化を

質問 行政区活動支援助成金の交付を。

答弁 各区への主体的な地域活動を支援する制度として、1区10万円を上限として、よりあい事業補助金を交付している。

持続可能な農業・農地維持施策は

質問 辰野町農業の位置付けと必要性は。

答弁 担い手の支援、農地保全、販売体制の強化などを通じて、地域全体で支える仕組みづくりを進める。

【注目ポイント】 果たして進むか。辰野町の創生 辰野町の地域活性化。



辰野高校存続に向け、生徒の国際交流への支援を

町長 連携により教育環境と国際交流の促進に努める

質問 今後の辰野高校生徒の台湾訪問に対し、国際交流との位置付けとして、補助金等の支援は出来ないか。

答弁 直接的な費用負担ではなく、国際的な視野を持った人材育成、生徒のアイデアに地域から協力を得る取組みを支援したい。



辰野と台湾オンライン交流

「辰野町立小・中学校あり方検討委員会」論点整理に見る今後の教育環境のあり方は

質問 先般実施されたパブリックコメントの中の「町内小学校を何らかの形で集約したい。」と「義務教育9年間に、小・中学校を分けずに連続した学び、活動が出来るようにしたい。」との設問に対して教育委員会も同じ考えか。

答弁 この設問は、検討委員会からの設問であり、教育委員会は、検討委員会からの提言を頂いた後、検討を進めていく事になる。

質問 ここ数年出生数が減少し、町内全体で2学級に

収まってしまう状況である。これらの状況から、早急に、統合、小中一貫教育の形態等について、検討を始めるべきではないか。

答弁 小学校を集約する事は、地域コミュニティの維持や活性化と直接的に関わる。あらゆる関係各所と協議をしないと進められない。新たな学校作りは新たな視点でのまちづくりが始まると考える。

人口の社会減に対する対応は

質問 人口の社会減を、プラスにしていかなければ、人口減を食い止めることが出来ないと思う。町はどのような対応策を講じる考えか。

答弁 画一的一律的な施策を講じるのではなく、対象層の実態を的確に把握し施策の実施時期や費用対効果、持続可能性を考慮した中長期的な視点で展開することが重要であると考えている。例としては、関係人口の増加等が考えられる。

質問 住民の声を直接聞く機会として、町政懇談会等あったが、最近開催された話がないが、開催予定は。

答弁 令和8年度開催できるよう、区長会等で区に声掛けをしていく。

【注目ポイント】 出生数の減少に合わせた教育環境の早期取組みを行なう必要があると思います。



町長公約事業の実現に向けたロードマップを示して

町長 現在は可能性を探る段階 職員横断チームを考えている

質問 3期目町長公約への町民期待の大きさは承知か。
答弁 期待の大きさは痛感している。拙速は避け民間連携や財政状況を精査する。

質問 3つの公約を示されたが、実現の優先順位は。
答弁 現時点で特定の優先順位は定めていない。

質問 粉砕砕身の決意の4年でどこまで実現できるか。
答弁 任期中に完了することは難しい。10年先を見据えた道筋をつけることが、今期の責任。

要望 早期に具体的なロードマップを示して。

子どもの権利の周知とウェルビーイング教育の関係

質問 子どもの権利について「小学5年生の約9割が、内容を知らない」のアンケート結果をどう受け止めるか。

答弁 認知不足は承知している。子どもが意見を言いたいと思える機会を作って行くことを検討する。

質問 周知を図る具体的な方法や機会の計画は。
答弁 意見を聞く会開催。こどもの権利を知る機会に。

質問 ウェルビーイングTOCO-TON教育の具体策は。
答弁 「明日も行きたくなる学校」づくりが権利の保障。

要望 子どもも大人もすべての方が「子どもの権利」と「こども基本法」の内容を知る機会、学ぶ機会を作って。

老人福祉センターの移転計画は

質問 令和5年9月議会で辰野町保健福祉センター「ぬくもりの里」に移転すると答弁をされたが。

答弁 移転改修に向けて動いたが、事業費3億円と試算された。合致する補助金の手立てができず、移転はすぐには難しい状況。利用者の皆さんへの対応は、暑さ対策を考慮し、「ぬくもりの里」の2階を通年利用することで対応する。移転は立地適正化計画で進める。



老朽化した辰野町老人福祉センター

その他 令和8年4月から県が定める「松くい虫被害市町村」となる。木材の移動制限のポイント周知・徹底を。

【注目ポイント】 持続可能な辰野町に向けた「見える形」のロードマップを提示して。(老人福祉センターも含め)



高齢者のリスクリング支援の必要性について町の考えは

町長 健康寿命の延伸や地域課題の担い手として重要と認識

答弁 重層的支援体制整備事業を推進し、社会福祉協議会など関係機関や地域住民が連携したネットワーク作りを進める。

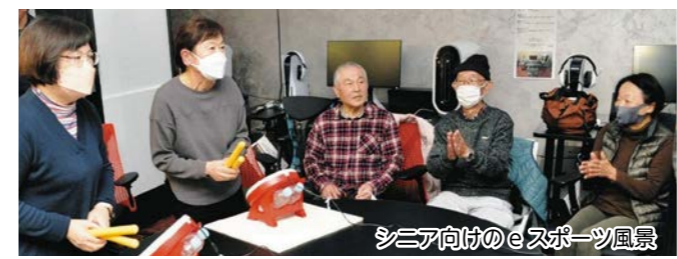
質問 デジタルスキル認定証発行やセカンドキャリア研修制度創設の考えは。

答弁 町独自のセカンドキャリア研修制度設立は困難、ハローワークの職業訓練や南信工科短大での委託訓練など町外の学習機会を活用し、産業振興課内の無料職業相談所を通じて高齢者の就労支援を継続する方針。

ウェルビーイング向上に向けたeスポーツ導入は

質問 介護予防事業と連携させて導入する検討は。

答弁 eスポーツがシニア世代の交流や介護予防活動として自治体で増加している。



シニア向けのeスポーツ風景

【注目ポイント】 重層的支援体制事業が全町民のウェルビーイング向上の推進になることに期待します！

令和7年3月の健康長寿応援広場で30名に体験してもらい好評だった。課題整理と先進事例検証を行い、既存事業でスポーツの実施から始める。

質問 多世代交流を促進するeスポーツモデル事業の実施の考えは。

答弁 若者が先生となり高齢者が生徒となる仕組みが双方の自己肯定感向上と社会参加につながる。多世代交流施設のオレンジカフェを活用し、夏休み中の学生との体験会をモデル的に実施する検討を進める。

サイバーセキュリティ基本方針の策定状況は

答弁 令和8年4月1日までの策定義務化を受け、情報セキュリティポリシーを改定し年度内に向けて準備中。辰野町版と教育委員会版の2本立てで作成し、議会や選挙管理委員会等も網羅した内容になる。

質問 セキュリティ水準担保と通信回線二重化は。

答弁 ガバメントクラウド接続回線の冗長化により一定の可用性が担保されている。スターリンク等衛星通信の有効性は認識しているが費用負担が課題。現在は通信回線遮断時の縮退運用検討を進めており、業務優先順位整理やオフライン対応手順を検討中。

空き家バンク事業の不祥事、監査委員としてご意見を

監査委員 内部統制の構築、運用状況にも監査を強化していく

空き家バンク事業の不祥事は

答弁 会計帳簿のチェックだけでなく、事務の適正化なども重点を置き監査を強化する。また、町職員の適正な再出発を望む。

町の行う指定管理事業は

質問 指定管理事業についての監査委員のご意見を。
答弁 住民の福利厚生施設のため必要と考える。本年度終了する指定管理業者の監査も実施。協定書の確認調査も実施した。



指定管理事業施設

有害鳥獣対策は

答弁 被害状況は令和6年度、面積560アール、金額で1,986万円ほど。令和5年度対比で30%減少している。

ワナ設置、電気柵の効果が一定程度見られるが、果樹農家の鳥類被害が増加。

質問 有害鳥獣駆除の専門的班編制の可能性は。

答弁 猟友会には、地域を越えた駆除の協力をいただいている。持続可能な体制の構築に向けて取り組む。

質問 資格取得補助の状況は。

答弁 狩猟免許取得時に3万円、罠(わな)免許に1万円を上限に補助している。

質問 ガバメントハンター設置の考えは。

答弁 職員の確保など課題が多いが、猟友会と共に研究を重ねていく。

辰野町の森づくりは

質問 森林環境譲与税による意向調査の進捗状況は。

答弁 5地区で実施。管理を町に相談箇所は小規模で整備が進まない状況。

質問 森づくりの町のビジョンは。

答弁 松食い虫対策の緩衝帯施業、熊対策のゾーニングなど様々な施業を計画している。森ビジョンに沿って長期的な視点で次世代に引き継ぐ森づくりを行う。

その他 辰野病院の経営状況。

【注目ポイント】 指定管理事業で課題の特に多いのは、かやぶきの館及び周辺施設！



町政70周年記念事業 PR動画制作の目的は何か

町長 町の魅力を内外に発信することを目的としている

動画のコンセプト 町民への周知 画像素材の運用は

質問 演出のコンセプト、一番伝えたいことは何か。
答弁 現在の町の姿を、町民の人間像やドローンによる空撮映像も含め、四季折々の風景を記録している。
質問 完成後の周知はどのように行うか。
答弁 納品次第、町公式YouTubeチャンネルで公開し、町ホームページにもリンクを設置する予定でいる。
質問 動画素材の後利用について検討しているか。
答弁 納品後は幅広い場面での活用を検討する。ふるさと納税ポータルサイト等での活用も視野に入れている。

災害井戸登録制度へ向けての研究の進捗は

答弁 県内事例を参考に検討中。町内に329件の井戸が確認されたが、個人所有の場合は防犯上の懸念や維持管理等の課題がある。今後は公共施設や企業をモデルとして登録する可能性を含め、令和8年度以降に詳細な調査を進める方針。

町内文化財のデジタルアーカイブ化についての考えは

答弁 宮田村での文化財火災を受け、防火啓発と記録保存を強化する。デジタル3D化は多額の費用等の課題から個別の建物への導入には慎重だが、町並み保存の広

域活用には検討の余地があるとする。まずは既存の文化財情報をデジタル化し、学校教育等で利用可能な「地図情報システム」の構築を今年度中に進める。



地域レジリエンスソーラーシステム事業の成果は

答弁 本格稼働から2ヶ月程度経過しており、1日あたり200～300kwh程度の発電をしている。年間約427万円の電気代削減を見込んでいる。
質問 災害時の検証と町民への波及効果は。
答弁 災害時に電力を融通し合う「マイクログリッド」として機能させる。EV車は避難所への給電も可能で、防災訓練等を通じて運用体制を強化する。
質問 効果を見える化できないか。
答弁 役場エントランスに設置済みのリアルタイムモニターで、発電量やCO2削減量を可視化している。

【注目ポイント】 災害井戸登録と町内文化財のデジタルアーカイブ化についてはまた質問していきます。

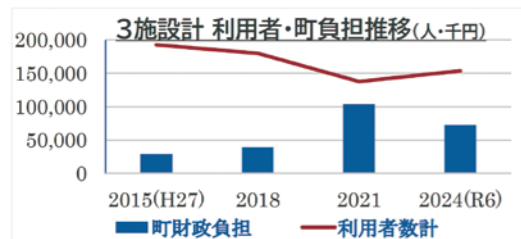


町営入浴・宿泊施設のサービス改善とあり方検討を

町長 住民福祉向上を基本に、要望・課題を整理して検討を進める

指定管理3施設の運営改善と将来のあり方は

質問 この10年で町営入浴施設・宿泊施設の利用者は合計で2割減り、町の負担は2.5倍、約7千万円に増えている。湯にいくセンターは町の負担が3倍に。パークホテルは赤字に転落。かやぶきの館は町の負担が最も多い。3施設には温泉、サウナ、露天風呂、食堂が揃っていない。町民利用者数を調べ、改善策の聞き取りを。



答弁 要望・意見の把握は重要。検討する。
質問 町の公共施設は町民が使う為の施設。自治法の規定もそうだ。町民により選ばれるよう努力が必要では。
答弁 町民が利用しやすい環境づくりを進める。
質問 施設・設備の状況は。
答弁 老朽化が進み、法定耐用年数超えた設備が多い。

質問 町民は泊まらず、食堂・宴会場は本来民間がやる事業。雇用や経済効果は民間も同じ。町負担が増える中で、公共施設として維持する必要があるか検討を。
答弁 住民福祉や地域活動、観光、雇用などの役割を果たしている。今後も利用促進に努める。
質問 町は公共施設を4分の1減らす方針。入浴・宿泊の指定管理3施設はリニューアルの時期に。住民参加で将来のあり方検討が必要では。
答弁 経営分析、改修費用の試算などを専門的な視点で行い、段階的に住民参加を得るのが良いと考える。

除雪・融雪剤散布路線を増やせないか

答弁 除雪業者や機械、オペレーターが減り困難。生活道路は引き続き地域の皆様に協力願いたい。
要望 仕事が減り、除雪作業でもありがたいという声も聞く。高齢化と空き家増に対応して対象路線の拡大を。

マッサージ助成券の普及・改善は

答弁 70才以上の方に1回800円を年3回助成する制度。年数人の利用で、あり方を含めて見直す。
要望 町内施術所にチラシを置き、町内限定にして対象年齢引下げや助成回数増も検討して欲しい。

【注目ポイント】 町民の利用を増やし財政負担を減らすため、運営改善とあり方検討が必要では？

男女共同参画プランの進捗状況は

町長 第5次プランの施策・条例に基づいて一層取り組んでいく

質問 地域女性リーダーの養成は。
答弁 役場庁舎内での成果は出ているが、地域での養成講座としては、なかなか取り組めていない状況である。
質問 女性の視点が必要な防災分野のリーダー養成を。
答弁 女性目線ニーズの必要性の情報はあるものの、地区役員の男女比率の差により欠落しがちな男女差に配慮した訓練を行うことが大切。団体等の要職経験をされた女性や、幹部を担う女性消防団員などは、それぞれのスキルを活かし、活躍してほしい。
質問 行政における政策や方針決定の場への女性登用は目標を定めて推進を。
答弁 令和12年度50%登用を目標に進めていき、区長会において意識啓発をお願いしていく。
質問 地域活動への男女共同参画機運の醸成は。
答弁 第6次改訂版では固定的な役割分担を解消し、世代間ギャップはあるものの、男女共同参画は着実に進んでいる。今や女性のリーダーを養成する時代ではない。
多文化共生社会(国籍や文化の異なる人々)の教育は
質問 小中学校における外国にルーツのある子どもの日本語教室はどのように行っているか。

【注目ポイント】 一人一人が、それぞれに暮らしやすい、温かい人づくり・まちづくりを。



答弁 外国籍の子どもは小学校27名、中学校12名で、支援員1.0の加配とさらに小中学校2名ずつの配置をしている。また家庭通知は母国語で渡している。
質問 外国籍中学生の日本語力は授業に際し十分か。
答弁 日本語指導や翻訳機も使っているが、個別の理解もあるため一概には言えない。

山林にある町所有の施設の状況把握と防火対策は

答弁 町との覚書を締結し状況把握をしている。今後も町有財産の適正な管理をしていく。
ほたる童謡公園公衆トイレの鳥の羽とクモの巣除去を
答弁 毎日の清掃だけでは補いきれない高所にも気遣って清掃作業を行っていきたい。



男女共同参画と地域の担い手不足を考える ～女性団体連絡協議会との意見交換会～

令和8年2月4日(水) 町議会は、女性団体連絡協議会との意見交換会を町役場で開催しました。議員14名と女団連のメンバー19名が参加し、男女共同参画の現状や地域活動の担い手不足をテーマに、現場の声と課題を共有しました。(詳細は二次元コードより)



政策決定の場への参画

町では長年、男女共同参画プランを策定してきましたが、政策決定の場への女性登用は依然として課題です。現在、町の審議会等における女性委員の割合は26.1%に留まり、国や県の目標と比較して低い水準にあります。参加者からは「計画が形式化しており、進捗を細かく検証すべきだ」との意見が出されたほか、「議員の学校」等を通じた女性リーダーの掘り起こしを期待する声が上がりました。

世代間の意識差と将来への展望

行政チャンネルを活用した情報発信を強化し、町民の関心を高める。現代のニーズに合った新しい形での交流・活動の場を模索するなどが提案されました。



未来に向けて 町議会は、今回寄せられた多くの声を一般質問や委員会活動に反映させ、誰もが参画しやすい地域社会の構築を目指して、行政とともに施策を推進していきます。

物理的・心理的障壁

地域活動の担い手不足については、草刈り等の力仕事は女性の役員就任を妨げる大きな要因となっている実態が報告されました。これに対し、作業の外部委託やシルバー人材センターの活用、また「1戸1名」という選出構造を見直し、夫婦や複数人で役割を分担する柔軟な仕組みづくりが提案されました。

議会だよりモニター アンケート報告

ズバリ！No.100記念号 紙面の満足度は？ 皆様から大変嬉しい評価をいただきました。

- ★ 読みやすさ 【 91% 】の方が「読みやすい」と回答 (とても36%・やや55%)
- ★ デザイン・写真 【 100% 】の方が「良かった」と回答 (とても55%・やや45%)
- ★ 🎯 注目ポイント 【 82% 】の方が「役立った」と回答 (非常に27%・多少55%)

皆様の声 & 議会からのアンサー

〔読みやすさ・デザインについて〕

モニターの声 「老眼でもメガネなしで読めて嬉しかった」、「白抜き文字が見やすい」、「もう少し文字を大きく、余白が欲しい」

改善に向けて 文字の大きさは維持しつつ、スッキリと読みやすい余白のあるレイアウト、写真やイラストの活用を研究します。

モニターの声 「【🎯注目ポイント】は、良いアイデアですね！色を変えてもっと目立つように」、「イラストをつけてみては？」

改善に向けて 文字サイズや色使い、配置を工夫し、パッと見て要点がわかる【🎯注目ポイント】に進化させます。

〔記事の内容について〕

モニターの声 「指定管理の件、もっと金額の差や他との比較、町側の見解がわかる図解がほしい」

改善に向けて 議案の概要や争点を整理し、図解や専門用語解説(指定管理者制度など)を設けてわかりやすく伝えます。

モニターの声 「議員の皆さんの人柄がわかる記事(1日密着など)が読みたい」、「中学生議会で採用されなかった意見も知りたい」

改善に向けて 議会をもっと身近に感じていただけるよう、議員の日常や多様な声を取り上げる企画を検討します。

二次元コード、ぜひ使ってみてください！

アンケートでは82%の方が、「利用してみたい」と回答されました。

各コーナーにあるQRコードをスマホで読み取ると、より詳しい情報にアクセスできます。



1. 見やすさ・分かりやすさ



2. 議員活動の可視化



3. 親しみやすさ・町民参加

辰野町議会「議員の学校」オリエンテーション開催

3月22日(日) 町内12名(20～70歳代)の受講者の応募があり、新プロジェクトがスタートしました。

今後、地方議員の役割と仕事とは？自治体の財政と基本計画とは？町の課題とこれからの地方議員像とは？などの講義を予定しています。



次回定例会のご案内

開 会 6月 2日(火)

一般質問 6月 9日(火)・10日(水)

委員会審査 6月11日(木)・12日(金)

閉 会 6月16日(火)

※確定した日程は議会ホームページ等でご確認ください。
※請願・陳情についてはオンライン提出も可能となりました。

辰野町議会
YouTube

一般質問は役場1階の町民ホールと
YouTubeの生配信で傍聴できます。

編集後記

令和8年度の予算議会が終了しました。議会では「議会だよりモニター」や「議員の学校」の新たな活動を始動させました。また、女性団体連絡協議会や介護施設職員との意見交換会を開催し、住民との対話の場を広げました。新たな試みを政策提言へとつなげてまいります。

議会広報編集委員 牛丸 圭也